

市制 20 周年記念



小俣遺産

～Obata heritage～

私たちが20年後に残したいものこと



小俣小学校

令和 6 年度 4年生の取組

絵本と童話の店 みやがわ書店は伊勢市小俣町にある67年続く絵本専門店です。

TOPIC1

みやがわ書店の秘密

みやがわ書店は絵本がいっぱいある本屋さんです。私たちの学校の近くにあって、小さい頃から通っている人や、絵を習いに行っている人がいます。

絵本ばあばと絵本ばあばの家族の4人で宮川書店を1957年に始めました。それから少したち、1959年9月伊勢湾台風により、みやがわ書店が被害にありました。それから数年たち、1989年12月拡大のため今の店舗に移動しました。それと店の名前を「みやがわ書店」にして、これまでの店舗をギャラリー「イベントハウス」として改装オープンしました。名前の由来は日本で1番綺麗な川だからみやがわ書店にしました。それから1997年5月10日店名を今の「絵本と童話の店 みやがわ書店」としてリニューアルオープンしました。

絵本ばあばは子供たちが大好きで、子供に本を好きになってもらって、豊かな人生を送ってほしいから絵本の専門店を開きました。みやがわ書店は3000冊以上の絵本があり、県外からもたくさんの人が訪れる本屋さんです。



20年後に残したい私たちの思い

みやがわ書店は絵本好きにはたまらない場所です。作者も来てくれて絵の教室もあるので一石二鳥です。実は三重県の書店の数がどんどん減っているの、この素敵な場所をなくさないためには、私たちがみやがわ書店のことをアピールしてここに来る人を増やしたいです。自分たちが親になった時には、お金を集めてキッズスペースを作りたいです。



TOPIC2

絵本ばあばについて

橋村孝子さんは、みやがわ書店の店長で、みんなから絵本ばあばと呼ばれています。それにたくさん講演会に行っていて、みんなから引っ張りだこのおばあちゃんです。

絵本ばあばは、絵本も子供も大好きで、とても優しく、おしゃべりです。1976年に夫のお父さんを亡くし、伊勢市小俣町へ帰って来て、みやがわ書店を受け継ぐことになりました。

絵本ばあばは「楽しい！面白い！も大事だけど、考えさせられる本や紙芝居に出会ってもらうことの大事さを痛感しました」ということを言っています。

「はらぺこあおむし」を書いたエリックカールさんと友達で、お店にはエリックカールさんの絵が貼ってあります。



TOPIC3

戦争の悲惨さ



絵本ばあばは、戦争を体験しており、もう戦争をしてほしくないという思いで私たちに戦争の本を読み聞かせしてくれました。読み聞かせしてくれた中の『二度と』という紙芝居がとても印象的でした。「ノーモア広島、ノーモア長崎」この言葉が心に残って、戦争の悲惨さを知ることができる物語でした。

親戚があるうちは田舎に引っ越す（縁故疎開）、親戚がいない人はお寺や公民館に疎開する（集団疎開）という疎開の制度があって、ばあばは大阪から三重に縁故疎開しました。家族に「天皇陛下の玉音放送があるから聞きなさい」と言われて聞いていたら、日本は戦争に負けたということでした。もう逃げなくてよくなったけど、食べ物や学校へ持って行く物もなくて、お弁当すらもなかった過酷な時代でした。

自分たちはばあばが話してくれた戦争の話を聞いて、戦争をすることはとてもつらい事なんだなと思いました。そして、もう起こさないよう努力したいと思いました。私たちは戦争を起こさないよう呼びかけたり、ばあばの話を伝えたりして戦争がない世の中にしようと思いました。



おばたまつり・おばた町民体育祭

2024

私たちの町には「おばたまつり」と「おばた町民体育祭」という二大イベントがあります。
二つのイベントについてまちづくり協議会の雲井さん、黒田さん、稲垣さんにお話を聞きました。

OBATA

TOPIC1

おばたまつり&おばた町民体育祭とは！

おばたまつり

毎年8月、夏休みの最後の土曜日に小俣中学校で開催されるおまつりです。屋台、ダンスなどの発表、おかしまきなどがあって楽しいです。中でも花火が有名なので紹介します。

おばたまつりの花火は手筒花火です。手筒花火の重さは、小さいものは600g、それに対して何と大きいものは6kgもあるそうです。手で持って花火を打ち上げるので防火服を着ますが、火傷をすることもあります。

おばた町民体育祭

14年ぶりに大仏山公園で開催された、体育祭です。様々な競技やおかしまき、キッチンカーなど楽しむことがいっぱいです。そんなおばた町民体育祭のよさは参加すると参加賞をもらえて、競技がたくさんある所です。さらに、いろんな年齢の人が競技に参加できるのが一番の特徴です。実際に競技をみてドキドキしました。見るのも楽しかったです。

TOPIC2

二大イベントのお楽しみ！！

かしまき

かしまきは20万円～35万円分のおかしをトラックなどからまきます。まくための大量のおかしはおばたのお店で買っているそうです。

屋台

おばたまつりや町民体育祭には来てくれた人に楽しんでもらうために、たくさんの屋台があります。高校生や大人がボランティアでしてくれています。また子供が買える値段にしてくれていて、買いやすいです。

TOPIC3

まちづくり協議会の方や地域の社会の人々の思い



おばたまつりと小俣町民体育祭を開催してくださった人は町づくり協議会の方たちです。まちづくり協議会の方は、おばたまつりと町民体育祭を開催するために夜遅くまで起きてみんなのためにがんばって考えてくれています。でも、これはボランティアなので給料はありません。ですが、私たちがイベントを楽しむことを想像するとがんばれるそうです。

また、イベントのお金が足りなくなる場合もあります。そんなとき、おばたの色々な会社がお金が足りなくなったらだしてくれれます。ですが、会社の人はずいぶんお金を出してくれるのでしょうか。それは会社の人たちも私たちが笑顔になってほしいからだと思います。

このように、小俣にある会社が協力してくれたり、町づくり協議会の人たちが忙しい中、おばたまつりと町民体育祭のことを時間をかけて考えてくれたりしているからみんなで楽しめるのです。



TOPIC4

20年後まで残していくためにみんなにできること

おばたまつりやおばた町民体育祭を20年後まで残していくためにみんなに出来る事を考えました。20年後もおばたの2大イベントを残すためにポスターを書くことでみんなに知ってもらったり、友達を誘って一緒に行ったりすることがわたしたちにできることだと思います。みんなが行くことで有名になり、行く人が喜ぶと思います。それが続いていくことで20年後にも残していけると考えます。





官舎神社・離宮さん

未来へつなく 魅力あふれる神社

2024

OBATA

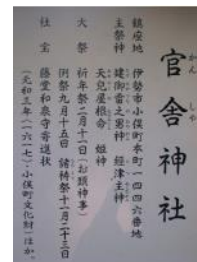
TOPIC1

官舎神社の神様と歴史

官舎神社には、タケミカヅチノオノカミなど二十柱も神様がまつられています。官舎神社に行くといろいろな神様がいて、そのぶん福がおとずれたり守ってくれたりしています。神様は、良いことが起きるように願ったり嫌なことが起きないように願ったり、いろいろな役目をして自分たちを守ってくれています。

そんな神様をおまつりしている官舎神社は 797 年にできました。偉大な人が泊まったとされる場所の跡にできたといわれています。797 年からの神社のことは神主さんが受け継いできた本に書かれています。しかし、官舎神社は、戦で焼けてしまいました。地域のみんなで力を合わせ、官舎神社は再建されました。再建されるほど良い神社です。また、1200 年もの歴史も持っています。こんな官舎神社が無くなってしまったらその二十柱の神様たちの居場所や長い歴史が無くなるかもしれませんので、官舎神社を 20 年後に残してください。

JR 参宮線宮川駅下車より徒歩 5 分
「離宮さん」「旅の宮」「大漁宮」
と呼ばれている。



TOPIC2

自然豊かな官舎神社

神社には参道があり参道には表参道と裏参道があります。参道は神様が通る道でお参りする道でもあります。また、お参りをしながら自然と触れ合うことも出来ます。きれいな酸素を出すために官舎神社は木で囲まれています。昭和47年に憩いの場としてみんなが自然と触れ合うために市からお金をもらって公園を作りました。

ちんじゅの森、お水、木、石などに神様がきます。

官舎神社では、神社の中には神様がいる部屋があるのでキレイにしています。そして、このように外も中もキレイにしているからみんなが来てくれるんだと思います。キレイにすると気持ちいいし、神様もみんなも気持ちよく過ごせます。みんなが来れる憩いの場になっています。



TOPIC3

官舎神社の魅力

毎年2月11日に獅子舞（お頭神事）という行事をします。官舎神社の年行事の一つにもなっていて、頭を噛んでもらい健やかな成長を願うものです。

神職はお参りされた方たちの願いを神様に伝えています。神様のお守りをご得られると信じているからです。神様に伝えるときには「大和言葉」が使われます。「大和言葉」は、今も使われつづけ、後付けではいつてきた漢字から離れて「音」そのものが意味をもつことが多いです。そこがひとつの特徴でもあります。数千年という長い時を超え、神社では今もなお使われ続けているのです。

神社は神様をおまつりするところです。官舎神社の宮司さんは「官舎神社の中をきれいにするのはうれしいのですが、ゴミをポイ捨てるのはやめてほしいです。」と話されていました。神様をおまつりするところなので官舎神社に来る時はきれいにしましょう。

おばた離宮院太鼓

楽しもう！みんなのおばた離宮院太鼓！

2024

OBATA

TOPIC1

おばた離宮院太鼓っていつできたの？

おばた離宮院太鼓は、平成2年（1990）7月にできました。2024年で、34年目です。子ども和太鼓は、勉強の合間に日本の伝統芸能である和太鼓を知ってほしい、子どもの集中力や、リズム感を養ってほしいという願いをこめて、平成3年（1991）7月にできました。普段は小俣農村環境改善センターで毎週水曜日の夜7時から8時半まで練習をしています。色々なイベントに参加しています。

稲垣先生の気持ち

稲垣先生は太鼓でみんなが楽しんでほしいという気持ちを持っている。演奏を聞いている人も楽しくなるために、自分たちが楽しく笑顔で演奏している。20年後もおばた離宮院太鼓が残るように受けついでほしいと思っています。

自分たちの気持ち

稲垣先生のおばた離宮院太鼓を受け継いで欲しいと思う気持ちを知らない人に伝えたい。まだ演奏を聞いてない人には聞いてほしい。やってみたい人は習ってみてほしい。稲垣先生の気持ちを知ってほしいと思います。みんなで離宮院太鼓を盛り上げたいと思います。



TOPIC2

演奏を聴いて思ったこと

お祭りなどでの演奏を聴いてみると、音が体に響いて迫力があり、心に響きました。たくさんの太鼓の種類があって、みんな違う音が出ていました。それぞれの太鼓の音がそろっていたから迫力が増していました。いろんな音が重なっていて特に笛は高い音なので太鼓の低い音と笛の高い音がかさなって綺麗な音でした。ずっと聴きたくなる音でした。



TOPIC3

太鼓をたたいてみてわかったこと

- ①太鼓をたたくことによってしんどうが全身に伝わります。太鼓のしんどうが「ブルブル」とうでだけでなく全身に伝わりました。太鼓によってはね返す力がちがうのでたたきやすさが全然ちがいました。太鼓をたたく力かげんによって音の大きさが変わったり、しんどうも大きくなったり小さくなったりします。
- ②太鼓の種類によって音がちがいます。太鼓は大きさやたいこの作り方によっていろんな音が出て、太鼓の演奏をきいているときにひら太鼓やおけ太鼓などのいろんな太鼓を使っているのでいろんな音がきこえて、きいている側もたたいている側も楽しくなりました。同じ太鼓でも音が少しずつちがいます。
- ③同じ種類の太鼓でも音に味があるものもあります。少しずつ音がちがうので太鼓の演奏を聞いている時も楽しくなります。
- ④腹の皮と背中の皮は音がちがいます。腹の皮は音が低くて、背中の皮は音が高いため1つのたいこでも腹の音と背中の音でちがいます。

